

二小の風

学校通信



平成30年7月3日
7月号 天理市立二階堂小学校
文責 北野 博康
<http://academic1.plala.or.jp/nisyo/>

訓練ではなく

6月18日(月)午前7時58分、地震とともに大きく揺れました。登校の時間帯で、校舎内にいた児童、まさに学校に到着した児童、登校途中の児童がいました。近くにいた児童には低くなるよう指示した後、揺れが収まり、訓練どおり全校児童を運動場に集めました。後から登校してきた子も含め、安否を確認し合いました。

大きな地震に恐怖心を抱く児童も多かったようです。教室内の安全確認を行い、通常の授業に入りました。その間、通学路の安全確認も行いました。大阪で登校途中の児童が倒れた壁の下敷きになって亡くなるという悲しい事故は他人事ではありません。

また、6月20日(水)は、ちょうど登校途中に豪雨に見舞われました。

その日は1日降り続き、運動場は水没し、昇降口の間際まで水が来て、運動場側から下校できなくなりました。帰りの通学路も何カ所か冠水していて迂回しなければならないところもあり、教員引率の下、分団ごとに緊急下校することにしました。呼び出された分団から靴を持って2階を通過して体育館に入り、そこから下校する方法です。実は、これも今年度、緊急下校の受け渡し訓練を行っていたために、スムーズに下校することができました。

今回の2つの自然災害、訓練していたことが実際に避難として使用することになるとは思いませんでした。今回は、登校途中であるので、マニュアルも大切ですが、最終的には一人一人の判断力も育てていかなければならないと感じました。

養護学校との交流会(3年)

13日(水)は、3年生が二階堂養護学校に行き、小学部の児童と交流会をもちました。

施設見学を終えて、体育館でペアの子と出会ったのですが、最初は緊張気味でこわばった顔でした。

しかし、一緒にダンスをしたり、各教室に分かれてゲームをしたり、お互いの手作りのプレゼントも交換したりして関わっていくうちに、笑顔が増え、手をつないで体育館に帰ってくるペアが増えました。



養護学校のお友達に見送られて学校に帰ってきました。とてもほのぼのとした交流会になりました。

幼稚園との交流会(1年)

二階堂幼稚園の年長さんと1年生が交流会を持ちました。園児が本校にカレーパーティーの招待状を持ってきてくれたので、体育館で一緒に遊びました。お兄ちゃん、お姉ちゃんという意識で園児にやさしく接している姿が見られました。

今度は、本校1年生が幼稚園に行き、カレーをごちそうになりました。

その後、幼稚園、保育所時代に戻って園庭で園児と楽しく遊びました。

1学期のまとめを

早いもので1学期も残り20日足らずとなりました。梅雨時の蒸し暑さの中ですが、体調に気をつけ、頑張ってもらいたいと思います。

プールに歓声—水泳指導—

6月11日にプール開きを行いました。プール開きを前に6年生がきれいにプール掃除をしてくれました。



プール開き当日、朝会では、体育委員会の児童からプール学習での注意点の説明がありました。その後、各学年に分かれて入水したのですが、待ちわびたプールの学習に歓声が響いていました。

プール開きの後は、しばらく長雨が続き、気温や水温も低く、なかなか計画通り入水できない日が続いていました。



それでもようやく先週あたりから天候も回復し、気温も一気に上昇し、気持ちよさそうに泳いでいます。

自分で目標を設定して、練習に取り組んでももらいたいと思います。

